

別紙2 登記識別情報通知転記機能概要

平成 27 年 2 月 23 日以降に発行される登記識別情報通知は、二次元バーコード及び登記識別情報通知ファイル内に、当該登記の対象物件情報や受付情報、登記識別情報等を保持している。申請書作成ソフトにそれらの情報を読み取り転記する機能を追加することにより、登記識別情報提供様式作成時における利用者の入力負担を軽減することができる。また、本機能を利用した場合には、登記識別情報提供様式の二次元バーコード格納情報要素（令和 2 年 1 月 14 日以降に登記・供託オンライン申請システムに到達する登記識別情報提供様式が対象）への値の設定が必要となる。本資料は、二次元バーコード及び登記識別情報通知ファイルの保持する情報の詳細及びそれらの情報を登記識別情報提供様式に転記する機能の詳細について記載する。

1. 二次元バーコード及び登記識別情報通知ファイルが保持する情報

1.1 情報の一覧

二次元バーコードが保持する情報の概要について、表 1-1 に示す。なお、登記識別情報通知ファイル内にも同様の情報項目が含まれる。

表 1-1 二次元バーコード内の情報一覧

No.	項目名	形式	桁数	備考
01	<u>不動産番号</u>	半角数字	13	登記の対象の物件の不動産番号。
02	<u>用紙区分</u>	半角数字	1	申請書の甲/乙区分を表すコード値。 1：甲区 2：乙区
03	<u>受年受番順位 番号情報</u>	半角数字	17	申請書の受付年月日・受付番号又は順位番号。 詳細を、 1.4 受年受番順位番号情報 について に示す。
04	<u>同順位符号</u>	半角数字	3	申請書の同順位符号を表すコード値。 コード値と同順位符号の値の対応を、 1.5 同順位符号について に示す。
05	<u>名義人項目</u>	半角数字	2	登記名義人の種別を表すコード値。 コード値と名義人項目の値の対応を、 1.6 名義人項目について に示す。

<u>06</u>	<u>出現順シーケ ンス</u>	半角数字	7	同一項目内で、名義人の記載順を示したシーケンス番号。
<u>07</u>	<u>登記識別情報</u>	半角英数字	12	当該の登記の登記識別情報。 登記識別情報通知ファイルには、暗号化されて格納されている。
<u>08</u>	<u>登記事項番号</u>	半角数字	7	

1.2 二次元バーコードが保持する情報の格納位置について

二次元バーコードは62桁の半角英数字で構成され、その中の定められた位置に表1-1の情報を格納する。二次元バーコードの中の位置と、格納される情報について、表1-2に示す。

表 1-2 二次元バーコード内の各情報の格納位置の一覧

No.	項目名	位置
<u>01</u>	<u>不動産番号</u>	1~13 桁目
<u>02</u>	<u>用紙区分</u>	14 桁目
<u>03</u>	<u>受年受番順位番号情報</u>	15~31 桁目
<u>04</u>	<u>同順位符号</u>	32~34 桁目
<u>05</u>	<u>名義人項目</u>	35~36 桁目
<u>06</u>	<u>出現順シーケンス</u>	37~43 桁目
<u>07</u>	<u>登記識別情報</u>	44~55 桁目
<u>08</u>	<u>登記事項番号</u>	56~62 桁目

二次元バーコードを読み取り、各情報を抽出する処理のイメージについて、図 1-1に示す。

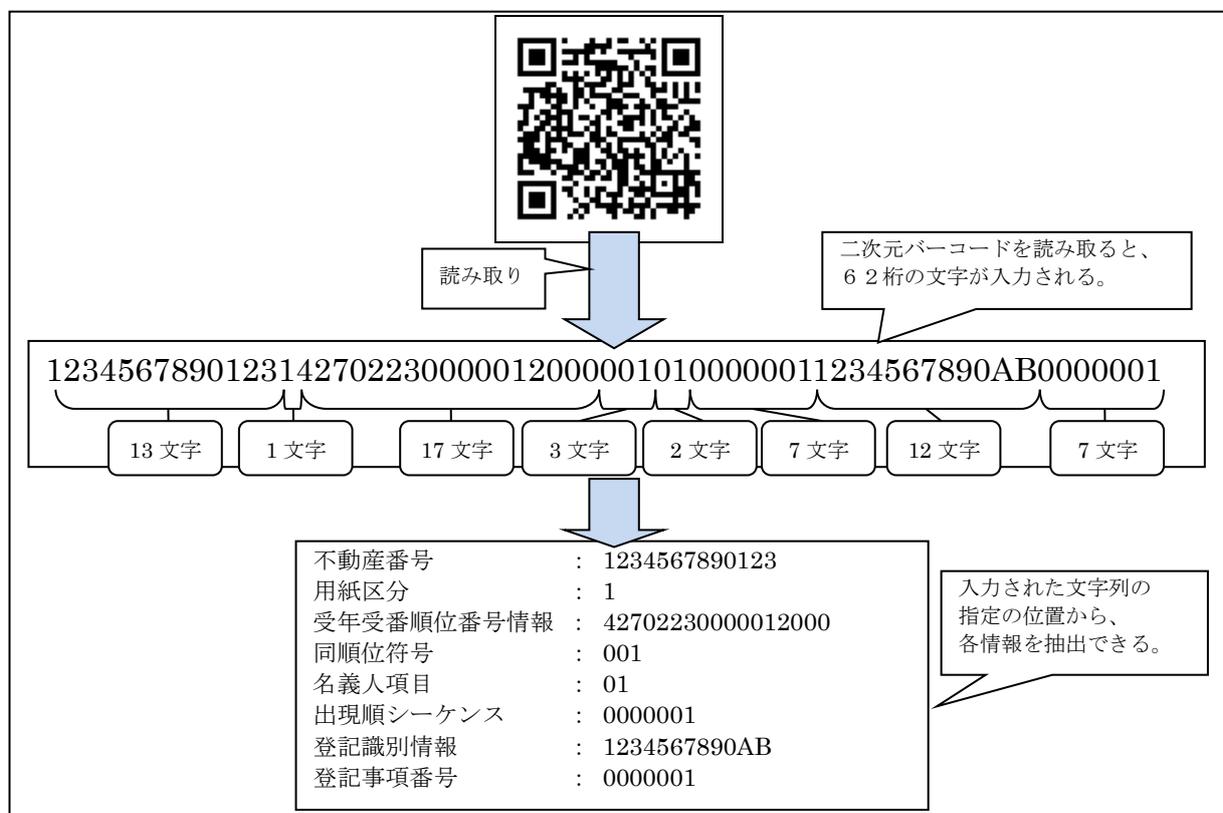


図 1-1 二次元バーコードを読み取り、各情報を抽出する処理のイメージ図

1.3 登記識別情報通知ファイルが保持する情報の格納位置について

登記識別情報通知ファイル内の各情報の格納位置を図 1-2 に示す。

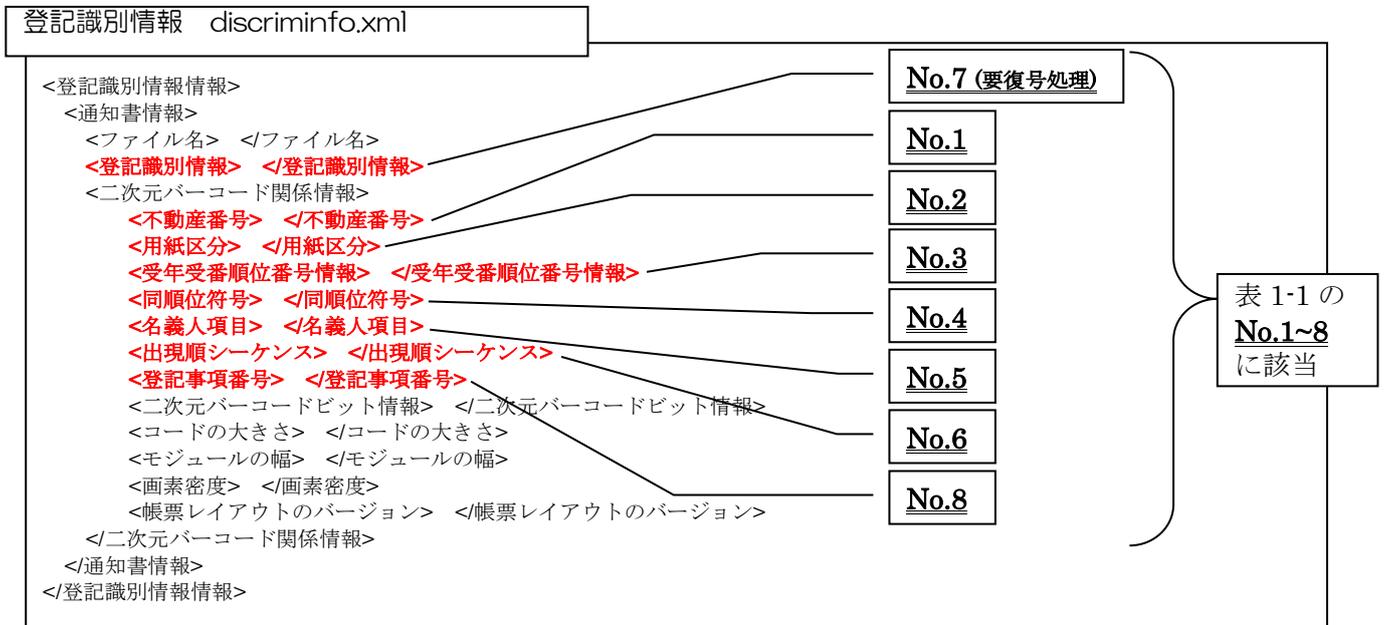


図 1-2 二次元登記識別情報通知ファイル内の各情報の格納位置

1.4 受年受番順位番号情報について

受年受番順位番号情報は、以下の 3 パターンのいずれかを表す。

なお、受年受番順位番号情報の表すパターンは当該情報の先頭の 1 文字目で判別可能とする。

- (1) 受付年月日及び受付番号を表すパターン (先頭の 1 文字目が 8、9 以外の場合)
- (2) 順位番号を表すパターン (先頭の 1 文字目が 9 の場合)
- (3) 順位番号が登記情報システムで扱える形式でないことを表すパターン (先頭の 1 文字目が 8 の場合)

それぞれのパターンごとの受年受番順位番号情報の内容について、以下の表 1-3、1-4、1-5 に示す。

表 1-3 (1) 受付年月日及び受付番号を表すパターン

項目名		形式	桁数	備考
受年受番				
受付年月日	元号	数字(半角)	1	1:明治, 2:大正, 3:昭和, 4:平成, 5:令和
	年	数字(半角)	2	
	月	数字(半角)	2	
	日	数字(半角)	2	
受付番号	本番	数字(半角)	7	
	枝番	数字(半角)	3	

表 1-4 (2) 順位番号を表すパターン

項目名		形式	桁数	備考
順位番号				
順位番号区分		数字(半角)	1	9: 正常
本順位番号	主番	数字(半角)	8	
	付記番号1	数字(半角)	4	
	付記番号2	数字(半角)	4	

表 1-5 (3) 順位番号が登記情報システムで扱える形式でないことを表すパターン

項目名		形式	桁数	備考
順位番号				
順位番号区分		数字(半角)	1	8: 編集不可
本順位番号	主番	数字(半角)	8	'00000000'固定
	付記番号1	数字(半角)	4	'0000'固定
	付記番号2	数字(半角)	4	'0000'固定

1.5 同順位符号について

同順位符号として指定されたコード値と対応する同順位符号の値を以下の表 1-6 に示す。

表 1-6 同順位符号として指定されたコード値と対応する同順位符号の値

コード	同順位符号								
001	(あ)	026	(は)	047	(ア)	072	(ハ)	093	[A]
002	(い)	027	(ひ)	048	(イ)	073	(ヒ)	094	[B]
003	(う)	028	(ふ)	049	(ウ)	074	(フ)	095	[C]
004	(え)	029	(へ)	050	(エ)	075	(ヘ)	096	[D]
005	(お)	030	(ほ)	051	(オ)	076	(ホ)	097	[E]
006	(か)	031	(ま)	052	(カ)	077	(マ)	098	[F]
007	(き)	032	(み)	053	(キ)	078	(ミ)	099	[G]
008	(く)	033	(む)	054	(ク)	079	(ム)	100	[H]
009	(け)	034	(め)	055	(ケ)	080	(メ)	101	[I]
010	(こ)	035	(も)	056	(コ)	081	(モ)	102	[J]
011	(さ)	036	(や)	057	(サ)	082	(ヤ)	103	[K]
012	(し)	037	(ゆ)	058	(シ)	083	(ユ)	104	[L]
013	(す)	038	(よ)	059	(ス)	084	(ヨ)	105	[M]
014	(せ)	039	(ら)	060	(セ)	085	(ラ)	106	[N]
015	(そ)	040	(り)	061	(ソ)	086	(ロ)	107	[O]
016	(た)	041	(る)	062	(タ)	087	(ル)	108	[P]
017	(ち)	042	(れ)	063	(チ)	088	(レ)	109	[Q]
018	(つ)	043	(ろ)	064	(ツ)	089	(ロ)	110	[R]
019	(て)	044	(わ)	065	(テ)	090	(ワ)	111	[S]
020	(と)	045	(を)	066	(ト)	091	(ヲ)	112	[T]
021	(な)	046	(ん)	067	(ナ)	092	(ン)	113	[U]
022	(に)			068	(ニ)			114	[V]
023	(ぬ)			069	(ヌ)			115	[W]
024	(ね)			070	(ネ)			116	[X]
025	(の)			071	(ノ)			117	[Y]
								118	[Z]

表 1-6 同順位符号として指定されたコード値と対応する同順位符号の値

コード	同順位符号								
119	[1]	139	[2 1]	159	[4 1]	179	[6 1]	199	[8 1]
120	[2]	140	[2 2]	160	[4 2]	180	[6 2]	200	[8 2]
121	[3]	141	[2 3]	161	[4 3]	181	[6 3]	201	[8 3]
122	[4]	142	[2 4]	162	[4 4]	182	[6 4]	202	[8 4]
123	[5]	143	[2 5]	163	[4 5]	183	[6 5]	203	[8 5]
124	[6]	144	[2 6]	164	[4 6]	184	[6 6]	204	[8 6]
125	[7]	145	[2 7]	165	[4 7]	185	[6 7]	205	[8 7]
126	[8]	146	[2 8]	166	[4 8]	186	[6 8]	206	[8 8]
127	[9]	147	[2 9]	167	[4 9]	187	[6 9]	207	[8 9]
128	[1 0]	148	[3 0]	168	[5 0]	188	[7 0]	208	[9 0]
129	[1 1]	149	[3 1]	169	[5 1]	189	[7 1]	209	[9 1]
130	[1 2]	150	[3 2]	170	[5 2]	190	[7 2]	210	[9 2]
131	[1 3]	151	[3 3]	171	[5 3]	191	[7 3]	211	[9 3]
132	[1 4]	152	[3 4]	172	[5 4]	192	[7 4]	212	[9 4]
133	[1 5]	153	[3 5]	173	[5 5]	193	[7 5]	213	[9 5]
134	[1 6]	154	[3 6]	174	[5 6]	194	[7 6]	214	[9 6]
135	[1 7]	155	[3 7]	175	[5 7]	195	[7 7]	215	[9 7]
136	[1 8]	156	[3 8]	176	[5 8]	196	[7 8]	216	[9 8]
137	[1 9]	157	[3 9]	177	[5 9]	197	[7 9]	217	[9 9]
138	[2 0]	158	[4 0]	178	[6 0]	198	[8 0]		

1.6 名義人項目について

名義人項目として指定されたコード値と対応する名義人項目の値を以下の表 1-7 に示す。

表 1-7 名義人項目として指定されたコード値と対応する同順位符号の値

コード	名義人項目	コード	名義人項目	コード	名義人項目
01	所有者	11	永小作権者	21	転借権者
02	登記名義人	12	先取特権者	22	管理人
03	権利者	13	質権者	23	地役権者
04	受託者	14	根質権者	24	採石権者
05	受益者	15	転質権者	25	転根抵当権者
06	買戻権者	16	抵当権者	26	転根質権者
07	共有者	17	転抵当権者	27	申請人
08	前所有者	18	根抵当権者	28	配偶者居住権者
09	取得者	19	指定根抵当権者		
10	地上権者	20	賃借権者		

2. 申請用総合ソフトにおける情報転記処理の例

二次元バーコード及び登記識別情報通知ファイル内の各情報を登記識別情報提供様式に転記する処理について、申請用総合ソフトにおける実装を以下に示す。

01 不動産番号 … 添付書類/識別情報提供様式/不動産番号 タグに不動産番号の値を転記する。

02 用紙区分 … 添付書類/識別情報提供様式/受付情報/用紙区分 タグに文字列を設定する。設定する文字列は用紙区分のコード値により可変とする。コード値と対応する用紙区分の値を表 2-1 に示す。

表 2-1 用紙区分に設定する文字列の一覧

コード	用紙区分
1	甲区
2	乙区

03 受年受番順位番号情報 … 受年受番順位番号情報は、以下の 3 パターンのいずれかを表す。なお、受年受番順位番号情報の表すパターンは当該情報の先頭の 1 文字目で判別可能とする。

- (1) 受付年月日及び受付番号を表すパターン（先頭の1文字目が8、9以外の場合）
- (2) 順位番号を表すパターン（先頭の1文字目が9の場合）
- (3) 順位番号が登記情報システムで扱える形式でないことを表すパターン（先頭の1文字目が8の場合）

それぞれの場合の転記処理の詳細について、以下の(1)～(3)に示す。

- (1) 先頭の1文字目が8、9以外の場合、

添付書類/識別情報提供様式/受付情報/受付年月日 タグ

添付書類/識別情報提供様式/受付情報/受付番号情報 タグ

に、文字列を設定する。

受年受番順位番号情報は表 2-2 のとおり3項目に分かれる。

表 2-2 受年受番指定時の受年受番順位番号情報内の情報一覧

No.	項目名	桁数	位置	設定タグ
03-1-01	受付年月日	7	1~7 桁目	受付年月日/年月日
03-1-02	受付番号本番	7	8~14 桁目	受付番号情報/本番
03-1-03	受付番号枝番	3	15~17 桁目	受付番号情報/枝番

03-1-01 受付年月日 … 受付年月日/年月日 タグに文字列を設定する。

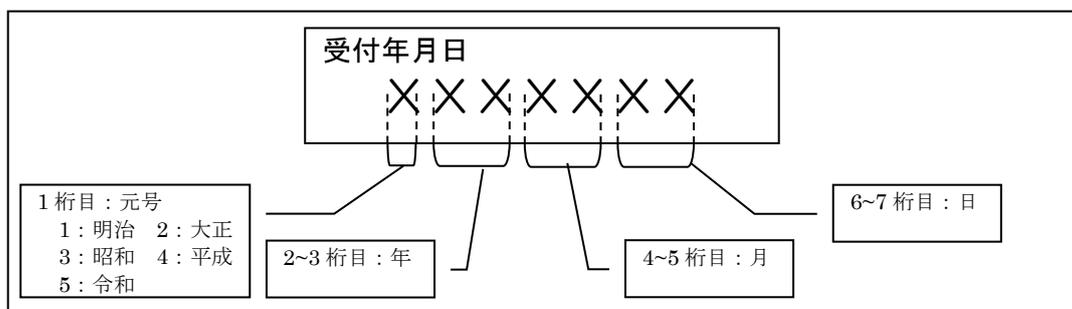


図 2-1 受付年月日の変換方法

受付年月日の値が示す年月日を文字列に変換して設定する。

文字列のフォーマットは、元号 X 年 X 月 X 日 (X は全角) とする。

受付年月日：4270223 → 設定文字列：平成 2 7 年 2 月 2 3 日

03-1-02 受付番号本番 … 受付番号情報/本番 タグに文字列を設定する。

受付番号本番の値の先頭の0を全て削除した文字列を設定する。

受付番号本番：0000123 → 設定文字列：123

03-1-03 受付番号枝番 … 受付番号情報/枝番 タグに文字列を設定する。

受付番号枝番の値の先頭の 0 を全て削除した文字列を設定する。

受付番号枝番：001 → 設定文字列：1

受付番号枝番の値が 000 の場合、文字列を設定しない。

(2) 先頭の 1 文字目が 9 の場合、

添付書類/識別情報提供様式/受付情報/順位番号情報/順位番号 タグに、文字列を設定する。

受年受番順位番号情報を表 2-3 のとおり各項目に分割する。

表 2-3 順位番号指定時の受年受番順位番号情報内の情報一覧

No.	項目名	桁数	位置	設定タグ
03-2-01	順位番号区分	1	1 桁目	設定しない
03-2-02	主番	8	2~9 桁目	順位番号
03-2-03	付記番 1	4	10~13 桁目	
03-2-04	付記番 2	4	14~17 桁目	

順位番号タグに設定する文字列は、主番のみの場合、付記番 1 まで存在する場合、付記番 2 まで存在する場合の 3 通りの形式がある。

主番のみの場合（付記番 1・付記番 2 の値が 0000 の場合）

主番の値の先頭の 0 を全て削除した文字列を設定する。数字は全て全角に変換する。

受年受番順位番号情報：90000012300000000
(主番：00000123, 付記番 1：0000, 付記番 2：0000)
→ 設定文字列：1 2 3

付記番 1 まで存在する場合（付記番 2 の値が 0000 の場合）

主番、付記番 1 の値の先頭の 0 を全て削除した文字列を設定する。数字は全て全角に変換する。また、付記番 1 の前後に文字を付与する。

受年受番順位番号情報：90000012300120000
(主番：00000123, 付記番 1：0012, 付記番 2：0000)
→ 設定文字列：1 2 3 付記 1 2 号

付記番 2 まで存在する場合

主番、付記番 1、付記番 2 の値の先頭の 0 を全て削除した文字列を設定する。
数字は全て全角に変換する。また、付記番 1、付記番 2 の前後に文字を付与する。

受年受番順位番号情報：90000012300120034
(主番：00000123, 付記番 1：0012, 付記番 2：0034)
→ 設定文字列：1 2 3 付記 1 2 号の付記 3 4 号

また、**04 同順位符号** の値が 000 以外である場合、変換した同順位符号の文字列をそれぞれの末尾に付与する。同順位符号の変換は表 2-4 を参照。

受年受番順位番号情報：90000012300120000
(主番：00000123, 付記番 1：0012, 付記番 2：0000)
同順位符号：001
→ 設定文字列：1 2 3 付記 1 2 号 (あ)

受年受番順位番号情報：90000012300120034
(主番：00000123, 付記番 1：0012, 付記番 2：0034)
同順位符号：047
→ 設定文字列：1 2 3 付記 1 2 号の付記 3 4 号 (ア)

(3) 先頭の 1 文字目が 8 の場合、値を設定しない。

(順位番号の値が登記情報システムで扱える形式でない場合、先頭が 8 となる。
利用者は順位番号を手入力する必要がある。)

04 同順位符号 … **03 受年受番順位番号情報** の先頭の 1 文字が 8、9 以外の場合、添付書類/識別情報提供様式/受付情報/順位番号情報/順位番号 タグに文字列を設定する。受年受番順位番号情報 の先頭の 1 文字が 9 の場合、添付書類/識別情報提供様式/受付情報/順位番号情報/順位番号 タグの末尾に文字列を追加する。設定する文字列は同順位符号のコード値により可変とする。コード値と対応する同順位符号の値は表 1-6 を参照。また、同順位符号の値が 000 の場合は、各タグに値を設定しない。

05 名義人項目 … 提供様式に記載する項目ではないため、転記しない。

06 出現順シーケンス … 提供様式に記載する項目ではないため、転記しない。

07 登記識別情報 … 添付書類/識別情報提供様式/暗号化情報/登記識別情報 タグに、暗号化して転記する。

08 登記事項番号 … 提供様式に記載する項目ではないため、転記しない。

3. 二次元バーコード格納情報要素について(令和 2 年 1 月 14 日以降適用)

令和 2 年 1 月 14 日以降に登記・供託オンライン申請システムに到達する登記識別情報提供様式には「/添付書類/識別情報提供情報/暗号化情報/二次元バーコード格納情報」要素が追加される。以下に二次元バーコード格納情報要素についての詳細を示す。

(1) 値の設定と削除

申請書作成ソフトでは登記識別情報通知転記機能を利用して登記識別情報提供様式に情報を転記する際、二次元バーコード格納情報有無を「有り」にして、二次元バーコード格納情報要素に対しても値を設定すること。

なお、二次元バーコード格納情報要素に設定する値は、登記識別情報提供様式に転記された登記情報と一致している必要があるため、登記識別情報通知転記機能を使用して登記識別情報提供様式に入力した情報が、利用者の操作により変更された場合は、二次元バーコード格納情報要素の値を削除すること。また、利用者の操作により「物件状態」、「閉鎖年月日」が変更された場合においても、二次元バーコード格納情報要素の値を削除すること。

(2) 設定値の生成

二次元バーコード格納情報要素に設定する値は二次元バーコード又は登記識別情

報通知ファイルが保持する情報¹を上から順に連結した 62 文字を、登記識別情報暗号化機能²により暗号化し、Base64 エンコードした文字列とする。

¹ 本資料の「表 1-1 二次元バーコード内の情報一覧」を参照のこと。

² 登記識別情報関連 API 編の 3.2 登記識別情報暗号化機能を参照のこと